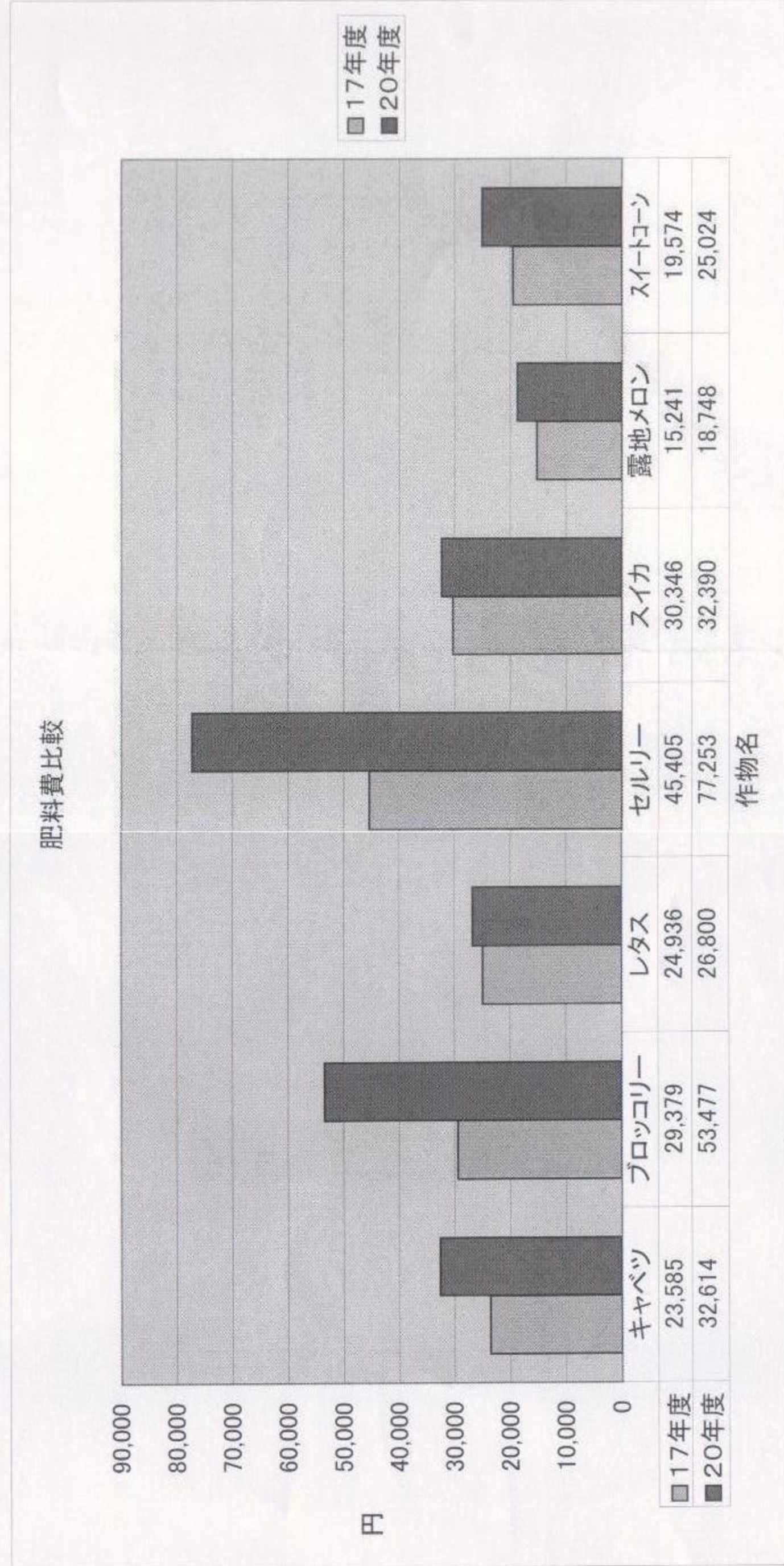


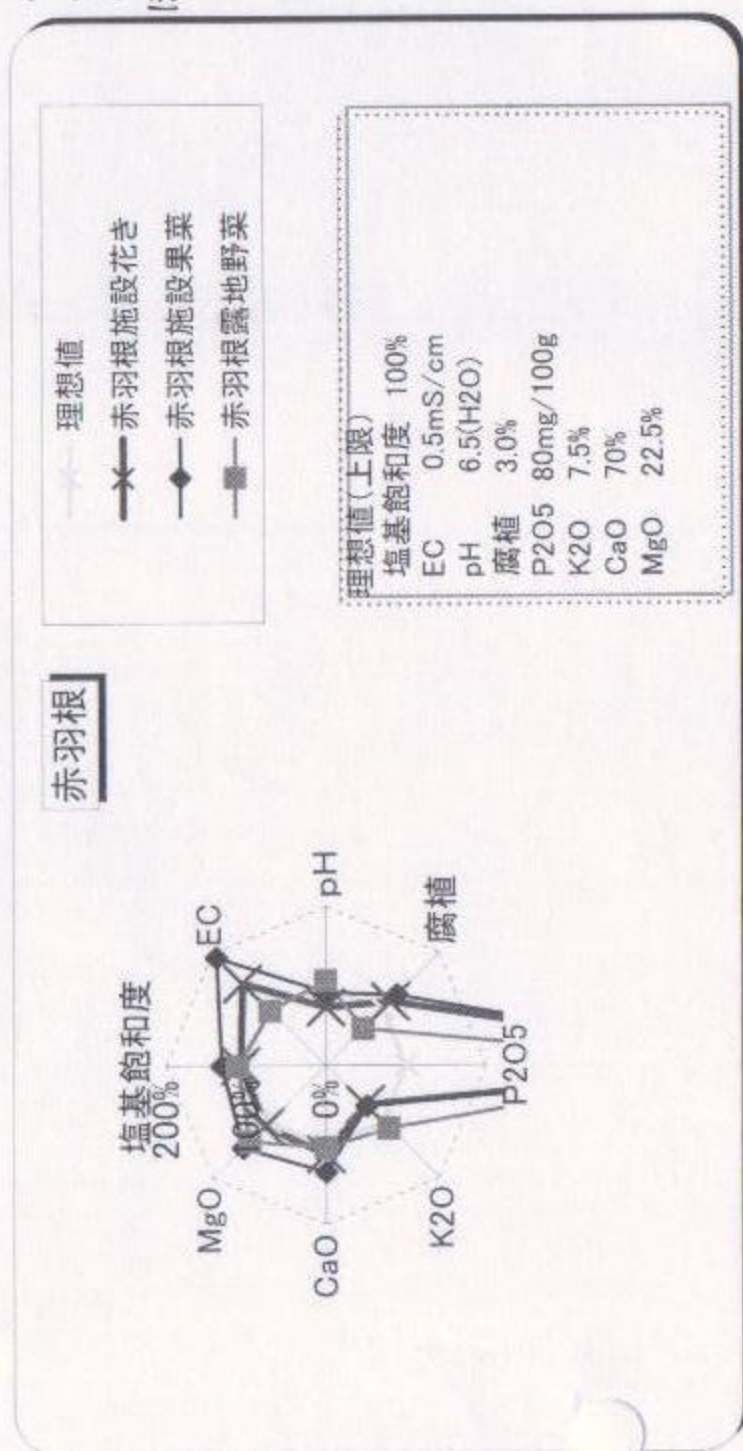
作物	17年度										20年度										収量 箱/10a
	種苗	肥料	農薬	動力	諸材料	出荷	予冷	運賃	手数料	計	種苗	肥料	農薬	動力	諸材料	出荷	予冷	運賃	手数料	計	
キャベツ	14,376	23,585	23,604	2,250	13,009	38,783	18,000	69,000	66,000	268,607	14,376	32,614	23,604	3,360	14,321	38,783	18,000	72,600	66,000	283,658	600
ブロッコリー	20,771	29,379	29,672	2,250	700	36,715	12,950	29,230	48,840	210,507	20,938	53,477	34,585	5,160	1,430	137,855	21,000	30,692	48,840	353,976	370
レタス	5,925	24,936	17,864	2,250	132,022	39,050	15,000	37,800	66,000	340,847	14,762	26,800	21,387	5,160	30,699	155,252	15,000	39,690	66,000	374,750	300
セルリー	58,387	45,405	39,727	79,096	120,047	243,036	30,000	81,900	132,000	823,798	28,019	77,253	46,884	239,160	129,007	245,875	30,000	85,995	132,000	1,030,577	650
スイカ	12,920	30,346	11,408	2,250	71,052	26,400	0	54,000	39,600	247,975	29,186	32,390	18,078	2,250	338,961	245,875	0	55,200	39,600	761,541	350
露地メロン	31,515	15,241	5,736	2,250	49,866	47,828	0	29,500	55,000	236,936	49,828	18,748	12,028	3,150	232,166	56,967	0	31,000	55,000	458,887	500
スイートコーン	28,380	19,574	10,675	2,250	5,735	26,010	22,050	15,750	27,500	157,923	28,380	25,024	8,719	3,150	5,563	25,800	10,850	15,750	27,500	150,736	250

注) その他は、予冷費、市場手数料(8.5%)、経済連手数料(1%)、農協手数料(1.5%)



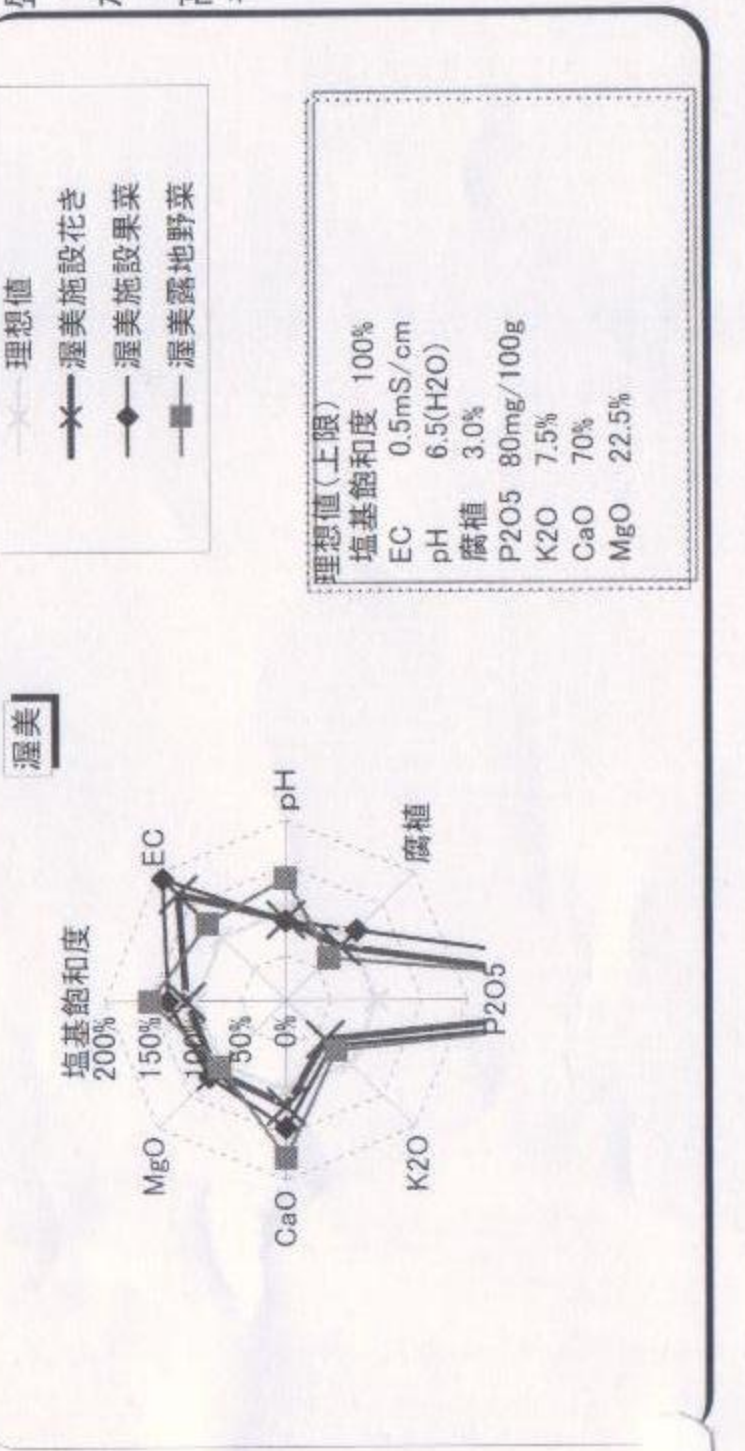
地域	代表作物	EC	pH (H2O)	NO3-N	NH4-N	腐植	CEC	P2O5	CaO	MgO	飽和	飽和	K2O	飽和
赤羽根	施設花き	0.6	6.2	6.8	2.6	3.3	19.8	299.3	434.2	86.1	22%	64.4	7%	107%
	施設果菜	0.9	6.4	12.4	3.7	3.5	19.4	290.8	509.9	113.8	29%	65.2	7%	130%
	トマト・メロン等	0.3	6.6	2.7	1.0	2.3	16.3	264.7	329.4	87.8	27%	85.5	11%	110%
	露地野菜													
渥美	施設花き	0.7	6.4	8.2	4.7	2.7	27.1	238.8	622.3	119.8	22%	77.7	6%	110%
	施設果菜	0.9	6.4	13.2	5.4	3.2	22.5	302.5	624.4	108.1	24%	75.6	7%	130%
	露地野菜	0.4	6.9	7.6	3.6	2.3	19.2	297.9	655.6	78.8	21%	71.0	8%	150%
田原	施設花き	0.7	6.1	6.6	4.1	2.6	21.5	248.5	476.1	77.6	18%	69.5	7%	104%
	施設果菜	0.7	6.5	9.9	4.1	3.0	21.8	266.0	606.8	97.8	22%	64.8	6%	128%
	露地野菜	0.5	6.5	5.5	3.2	2.1	14.4	195.3	423.8	56.5	20%	65.5	10%	135%

赤羽根



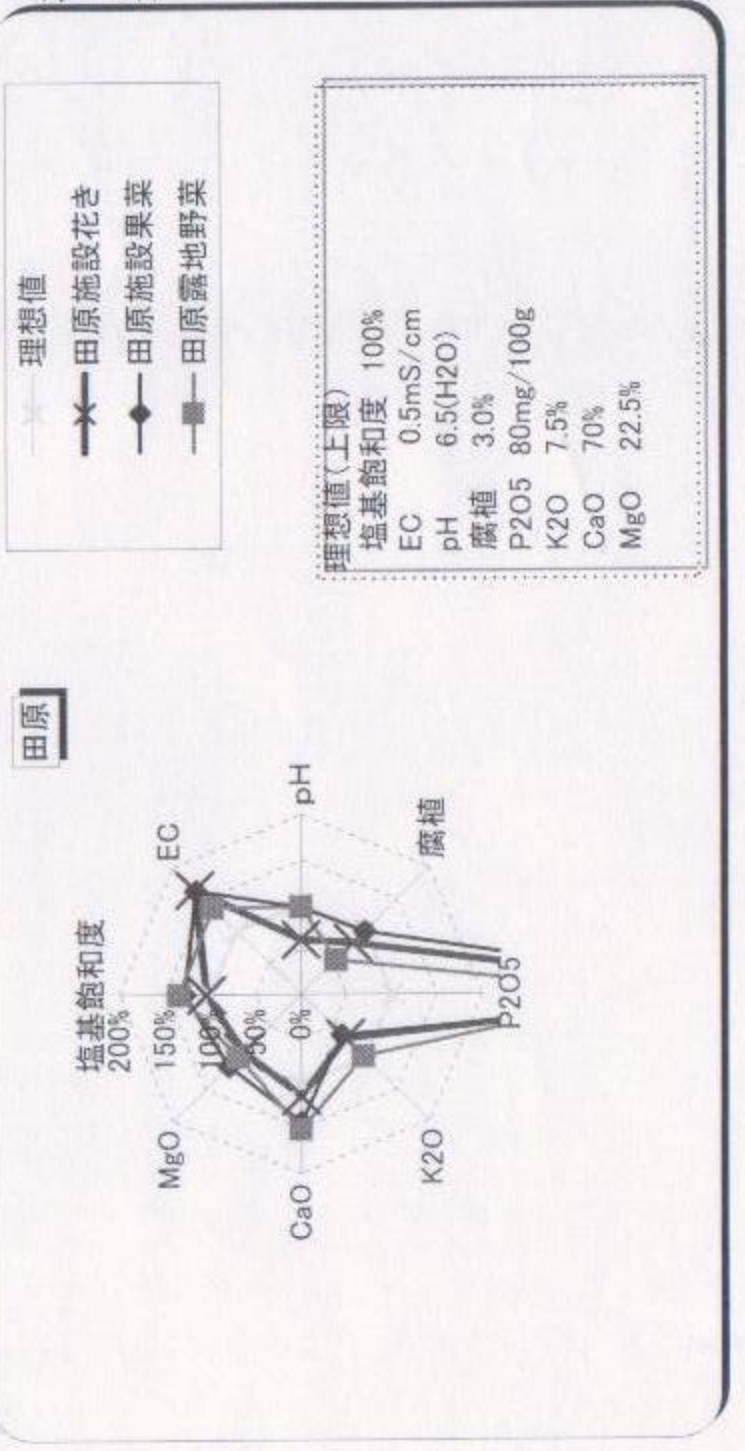
・赤羽根地域は、施設園芸が盛ん。
 ・大規模露地野菜農家はすくなくない。
 ・特にトマト等の施設果菜農家において、
 ほかの塩類濃度が高めに出ている。

渥美



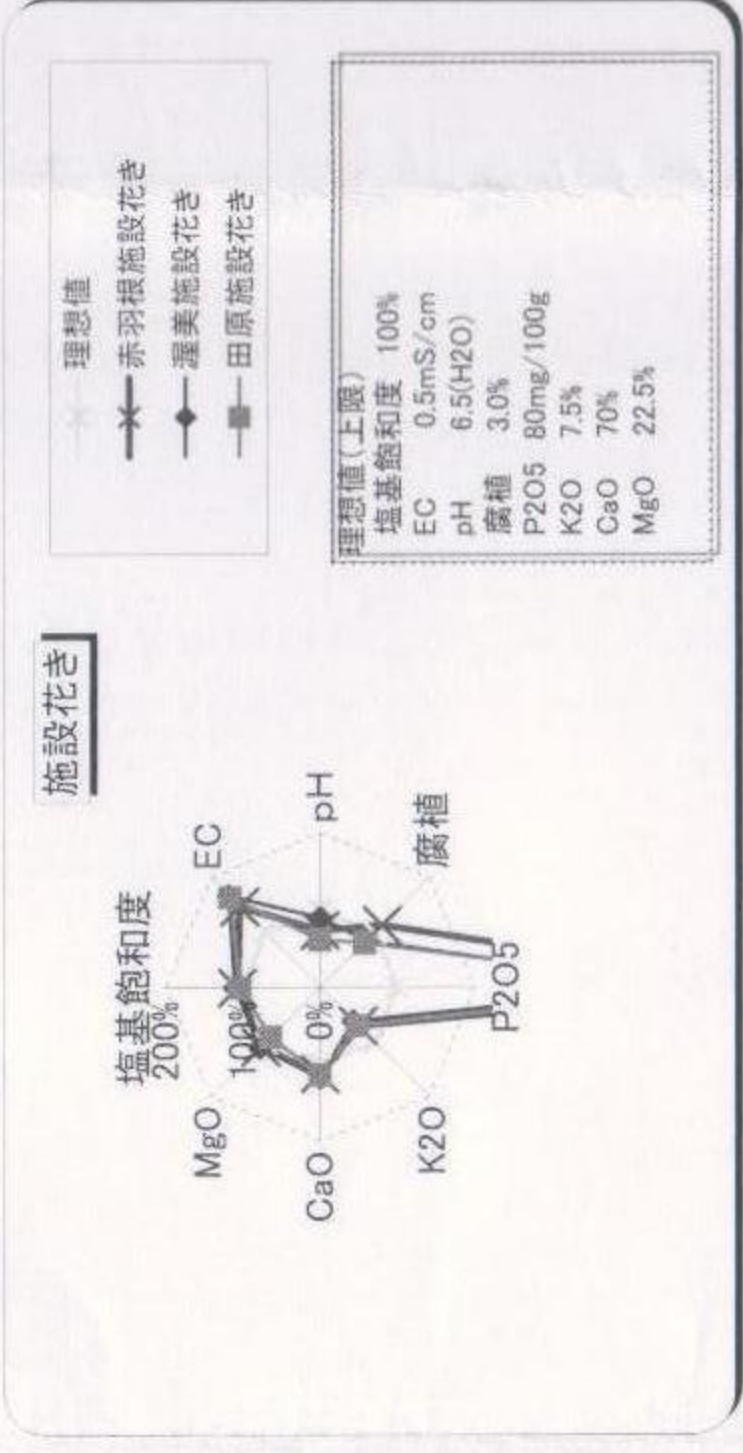
・渥美地域は、施設園芸、露地野菜ともに盛ん。
 ・花き、果菜と各成分の値はよくにているが、互いにECは高め。
 ・露地野菜の結果を見ると、石灰分の値が高く、pHも高い。また、腐植についてはもともと砂礫土壌が多いため少ない。

田原

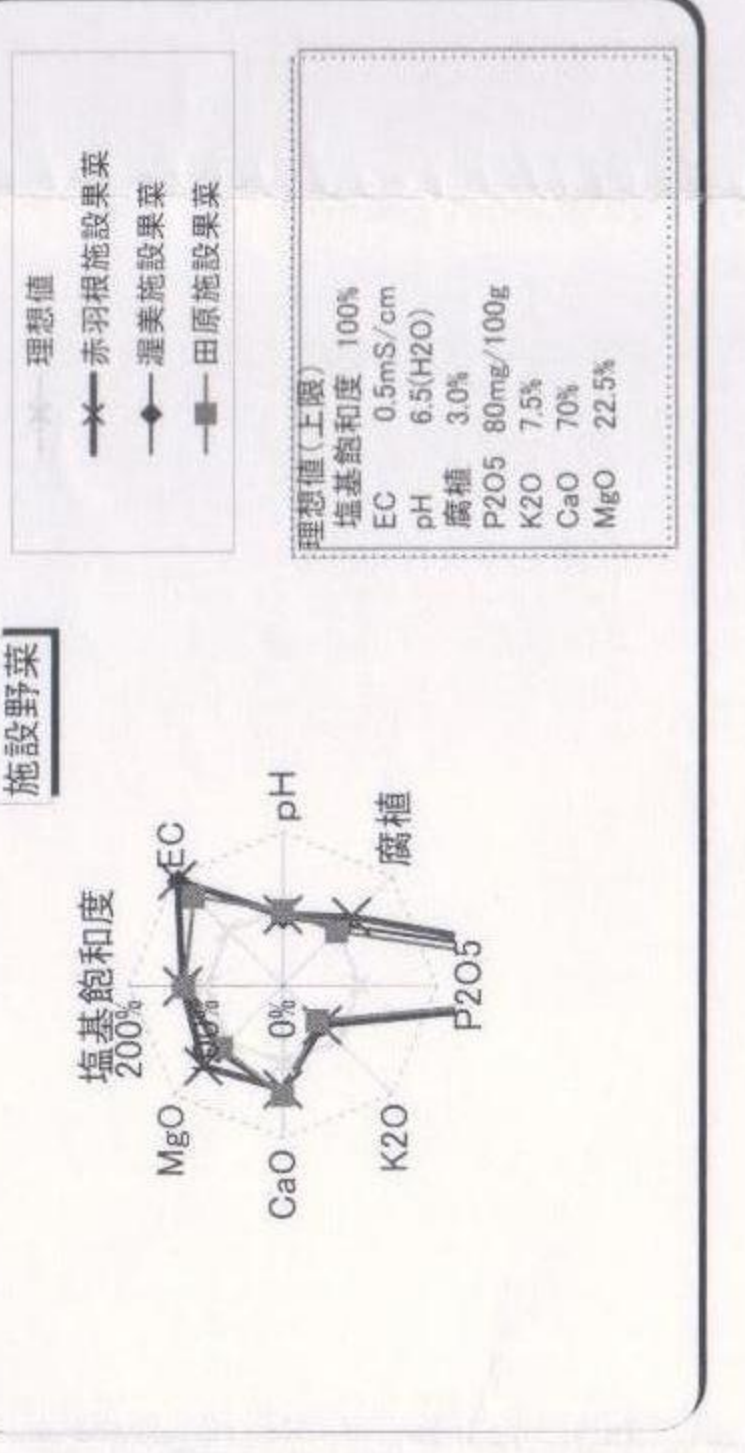


・田原地区は露地野菜農家が比較的多い地域。
 ・全体的にEC、石灰分はやや高くpHは適正。

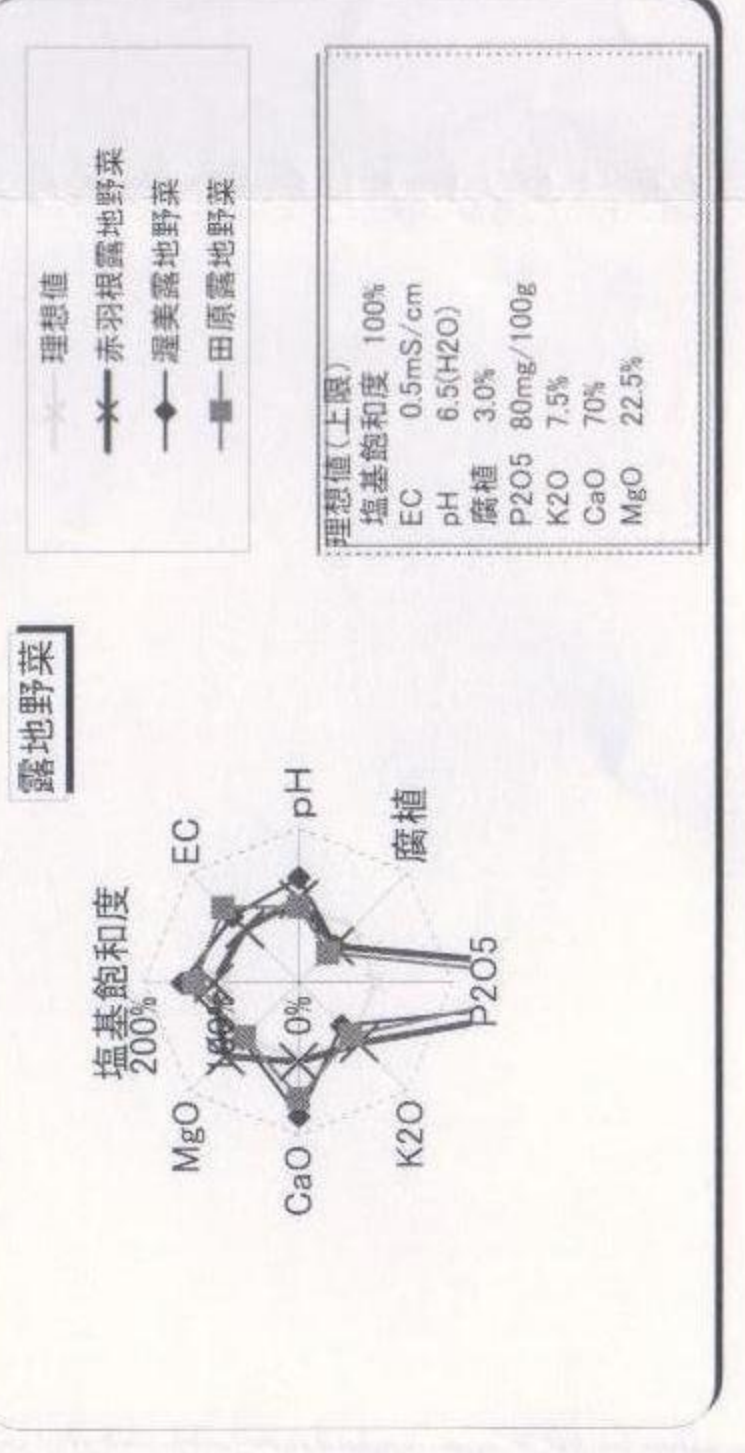
施設花き



施設野菜



露地野菜



各地域の花き農家の結果
 ・よく似た形になっているが、渥美は腐植とpHがやや高い。他地域よりもたい肥をはじめとした粗大有機物の投入量が多いためと思われる。

施設野菜農家（トマト、ミニトマトなど）
 ・各地域とも似通っている。
 ・作の中盤から、液肥等を使用しているため、土壌残留窒素が多い傾向にある。

露地野菜
 ・田原、渥美はキャベツをはじめとした露地野菜が多く、春先から夏にかけて積極的に土作りを行っている。
 ・赤羽根地域は苦土分が多いがもともとの土質と思われる。

土壌診断結果をまとめると、各地域とも栽培作物別によく似た結果となっている。特にリン酸値は露地、施設問わずに高い値を示している。また、露地野菜についてはたい肥の残さなどの影響で、硝酸態チッソ、アンモニア態チッソが多くECが高めに出ているケースも多く見られる。

エコファーマーはこんなことに取り組んでいます！

緑豊かな環境を維持し、農産物を安定的に生産するためには、環境にやさしい農業の実践が非常に大切です。

環境にやさしい農業を実践するエコファーマーは、①たい肥などを利用した土づくり、②化学肥料を減らす取り組み、③化学農薬を減らす取り組み、これら3つの取り組みを実施する計画を立てることで、知事に認定されます。

取り組み例

土づくりに関する取り組み

① 土壌診断や調査に基づくたい肥施用量や施肥量の算出



左の写真では、土を1m近く掘り、根の張り具合を調べています。

こうした取組により、作物の生育に適した土づくりを進めています。

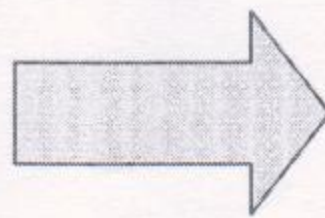


土壌診断によってたい肥や肥料の施用量を算出

② たい肥等有機質資材施用技術

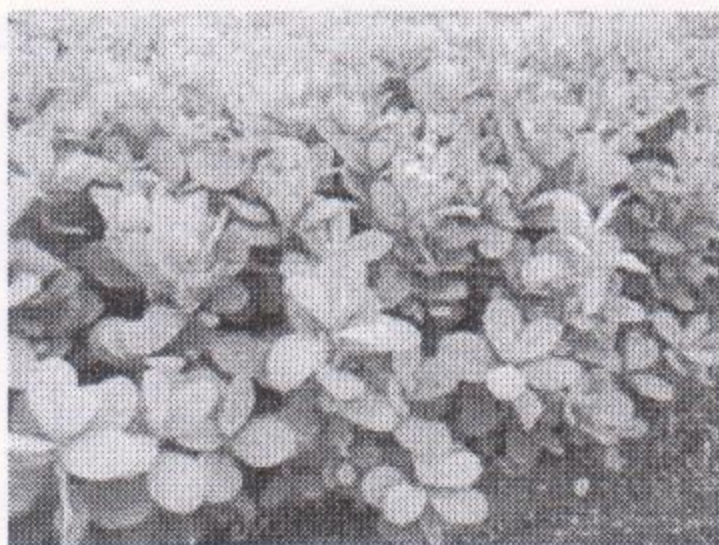


牛ふんたい肥などを散布します。

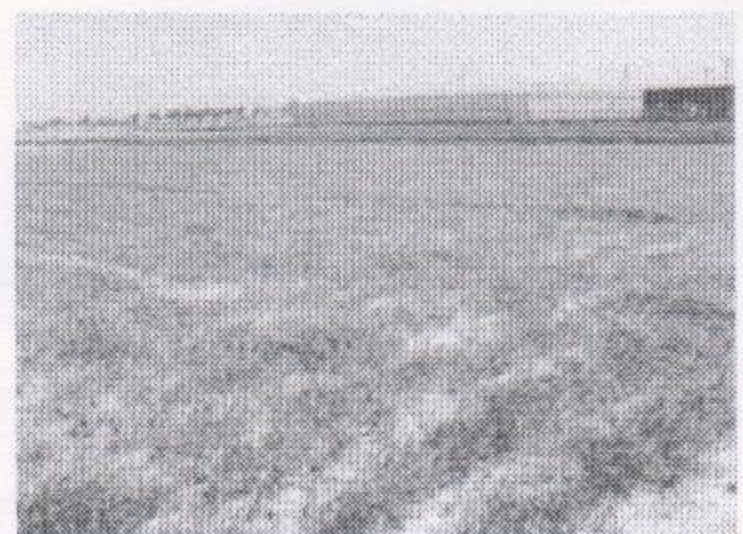


すみやかに土と混ぜます。

③ 緑肥作物利用技術

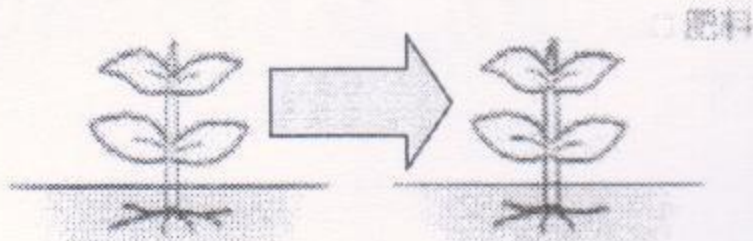


緑肥作物を栽培することで、肥料が流れるのを防いだり、緑肥作物をすき込むことで、土づくりに役立ちます。



化学肥料を減らす取り組み

①局所施肥技術

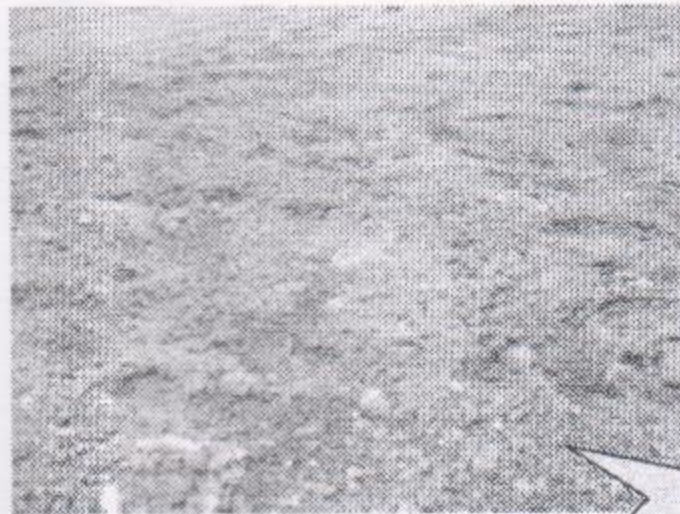


農地全体に肥料をまく

根が届く場所だけに肥料をまく

根の周辺に肥料をまくことで、植物が利用しやすくし、肥料の量を減らします。

②有機質肥料利用技術



鶏ふんやうずら糞などの有機質肥料を利用して、化学肥料を削減します。

黒い部分が有機質肥料です。

その他に、成分がゆっくりと溶け出していく肥料を利用する取り組みもあります。

化学農薬を減らす取り組み

①フェロモン剤利用技術



この部分に、フェロモン剤が入っています。

害虫をおびき寄せたり、交尾を阻害するフェロモン剤を利用して、化学農薬を減らします。

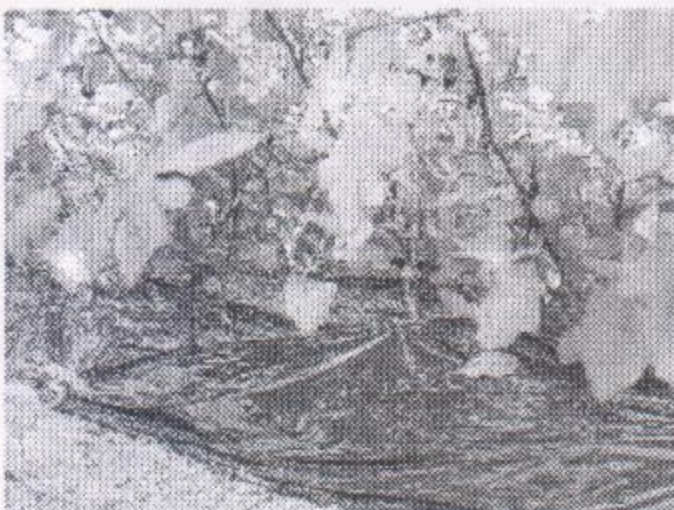
②生物農薬利用技術



黄色い虫が害虫です。

天敵昆虫などで害虫を減らし、化学農薬を減らします。

③マルチ栽培技術



地面をビニールなどで覆って雑草が生えるのを防いで、除草剤を減らします。

④被覆栽培技術



ハウスの横などを目の細かい網で覆って、害虫が入るのを防ぎます

ネットなどでハウスや農作物を覆って病害虫による被害を軽減します。

その他に、機械で草刈りをしたり、雑草を食べる動物を利用して、除草剤を減らす取り組みもあります。

化学肥料を減らす取り組み

	技術	具体的な取り組み
土づくり	ア たい肥等有機質資材施用技術 (作物残さのすき込みも含む) イ 緑肥作物利用技術	畜ふんたい肥などを利用する。 ソルガムやその他緑肥作物の栽培。
化学肥料低減技術	ア 局所施肥技術 イ 肥効調節型肥料施用技術 ウ 有機質肥料施用技術	畝内施肥、条施肥、側条施肥 ロング、エコベジタ、水稻ワインタッチ 発酵けいふん、発酵うずらふん、魚かす
その他	ア 低成分肥料	L型肥料16-2-3など